

薬学部学生・保護者のみなさまへ

新型コロナウイルス感染の拡大が顕著になり、緊急事態宣言が発出される中で新学期を迎えることとなりました。

千葉科学大学として大学公式ホームページにおいて4月9日に公表した「大学の令和2年度学期始業スケジュール等に関してのお知らせ」のとおり、学事日程の繰り延べについて決定し、お知らせしました。しかしながら、時々刻々と変化する状況に対応しつつ、学生のみなさまの健康と安全を確保するためには、当面の間、対面で行う授業を中止し、遠隔授業やe-learningの導入が不可欠と判断しました。具体的な対応については今後も大学公式ホームページにて随時お知らせいたします。

薬学部としては、新型コロナウイルス感染拡大を阻止し、封じ込めるための対応が長期化することは避けられない状況にあっても、学生の健康と安全を第一に考えて参ります。同時に、学業の機会を担保するために必要な対策を講じて参ります。そして、我々教職員は学生の健康と安全、学習機会の担保について責任があると考えています。薬学部としても、このような困難に立ち向かいながら、教育と研究を継続していくことは初めてのことであり、対応が確立しているわけではありません。教職員と学生、双方の協力のもとで、知恵を出し合い、試行錯誤の中でさまざまな工夫を行いながら、この困難を乗り越えていきたいと考えています。人類は歴史上これまでに数度のパンデミックを乗り越えてきました。今回も必ずやこの困難を乗り越え、これまで以上にいい社会を作れるものと信じています。

特に新入生のみなさまは、未曾有の事態に戸惑い、不安に感じていることと思います。大学進学を機に一人暮らしを始められた方は、なおさらでしょう。薬学部として、新入生のみなさまが学業に専念できる環境をいち早く構築できるように努力して参ります。今後の見通し、対応策については随時大学公式ホームページなどを通じて、お報せします。皆さんは医療人を志すものとして、冷静さと思いやりをもって日々を過ごして欲しいと思います。

最後に、学生の日頃の生活を支えて下さる保護者のみなさまや、千葉科学大学薬学部の活動に理解を示して下さる地域みなさまに感謝の意を表すると共に、今後ともご支援とご協力を賜ります様お願い申し上げます。

令和2年4月10日
薬学部長 岡本能弘